

3月に入りました。先月末の暖かさから春の気配が十分感じられますが、皆様におかれましては体調にお気をつけ下さい。3日 ひなまつり、6日 啓蟄、21日 春分の日

1. March 改正情報・案内

★介護保険料率・健康保険料率改定

①介護保険料率 **1.50%**に、愛知県の健康保険料率は **9.33%** 3月分(4月30日納付期限分)から変更されます。労使折半で、通常は翌月の4月支払給与から変更です。給与計算時の料率変更にご注意下さい。

各都道府県の料率案内は↓

<http://www.kyoukaikenpo.or.jp/8,0,131,586.html>



②今月で21年度が終わります。★労働保険の「年度更新」は、昨年から6/1～7/10となっていますが、労働保険事務組合 SR センターに加入の事業所様につきましては、今月末から来月初めにかけて、年度中の支払い賃金や建設工事関係の終了分につきまして確認させていただきますのでよろしくお願い致します。

③ 時間外協定届の更新の時期の事業場様、労基法改正に伴い就業規則の改定と変更届する事業場様におかれましては、今月末までに提出して参りたいと存じますので、よろしくお願い致します。

④ 雇用保険法も4月に改正されます。雇用保険料率につきましては、22年度より通常の料率に戻ります。4月分の給与から変更になります。※こちらは発生ベースでの徴収ですので、支払時期と関係なく4月分の給与からです。雇用保険関係の詳細は来月号でご案内致します。

2. 名言名句

「^{いずかた}何方をも捨てじと心にとり持ちては、一事も成るべからず」

(吉田兼好『徒然草』から)

何でもかんでも手につけていては、どれも中途半端なままで完成しない。やるべき重要なものに絞って、他は思い切って捨て去る決断力が必要である。

3. 助成金情報

建設労働者緊急雇用確保助成金を創設

厚生労働省は2月8日、今後厳しい雇用情勢が見込まれる建設労働者を対象とする助成金の創設を発表しました。創設されたのは建設労働者の雇用を維持しながら、建設業以外の事業に就くために必要な教育訓練を実施した中小建設事業主に訓練の実施経費や労働者の賃金を支給する「建設業新分野教育訓練助成金」とハローワーク等の紹介により建設業の離職者(45歳以上 60歳未満)を継続雇用で雇い入れた建設業以外の事業主に50万～90万円(半年毎手続、1年経過後・合計額)を支給する「建設業離職者雇用開発助成金」の2助成金。

4. データ・情報

① 飲食店・ホテル等の「全面禁煙」を通知(2月26日)

厚生労働省は、従来の分煙対策では不十分だと判断し、不特定多数が利用する施設(飲食店、遊技場、学校、病院、官公庁、ホテル、百貨店等)、鉄道やタクシー等の交通機関などについて、原則として全面禁煙とするよう求める通知を都道府県などに対して出した。同省では、職場での受動喫煙対策についても検討している。なお、通知に違反しても罰則はない。

② 出産育児一時金の直接支払制度 完全実施見送り(2月25日)

厚生労働省は、出産費用を公的負担で医療機関へ直接支払う制度に関して、合意文書を交わすなど一定の医療機関に認めていた導入猶予期間を、半年以上先送りする方針を固めた。当初、今年4月からの完全実施が予定されていたが、医療機関側から資金繰り悪化の懸念が寄せられていた。

③ フルタイム正社員の平均月給が大幅減(2月25日)

厚生労働省が「賃金構造基本統計調査」の結果を発表し、2009年6月時点におけるフルタイム労働者の残業代を除く平均月給が29万4,500円(前年比1.5%減)となり、4年連続の減少となったことがわかった。減少率は、1976年の現行方式による調査開始以来、最大となった。

④ 集団的労使紛争が前年比約3割増加(2月25日)

中央労働委員会が、2009年における集団的労使紛争に関するあっせん・調停が733件(前年比32.7%増)となったと発表した。賃金・解雇関連の紛争が目立っている。また、個別労働関係紛争は534件(同20%増)となり、整理解雇・賃金未払い・労働条件関連の紛争が目立つ。

⑤ 「名ばかり管理職」の未払い残業代訴訟が和解へ(計約1,280万円)(2月9日)

紳士服大手コナカの店長2人が「名ばかり管理職」として扱われていたとして、未払い残業代(計約1,280万円)の支払いを求めていた訴訟において、和解が成立したことが明らかになった。会社側が解決金(金額は非公表)を支払う内容で、原告側は「十分に納得できる」額だとしている。

⑥ 厚生労働省は、平成22年度の年金額を発表。年金額は平成22年度も据置きとなり、老齢基礎年金は、満額の場合は792,100円(月額6万6,008円)、厚生年金は、夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額として月額23万2,592円。なお、厚生年金については、夫が平均的収入(平均標準報酬が36万円)で40年間就業し、妻がその期間すべてにおいて専業主婦であった世帯の給付水準。



「イヌクシュク」とは、カナダ極北に住んでいる先住民族・イヌイットの人達が、石や岩を人間が両腕を伸ばした形のように積み重ねたオブジェで、大きいものでは5m以上のものもあります。その意味には、大平原の旅をする時の道標であったり、その土地にやってきた人々を歓迎(Welcome)するものであったり、食料の貯蔵場所を示すもの、崇拜の対象となっているものもあります。イヌクシュクは過去と現在を結びつける存在と言え、バンクーバーオリンピックのロゴとして、イヌイット語での「友達」の意味がある **Ilanaaq(イラナーク)**と名づけ、右足の赤い部分がカナダのシンボル、メープルリーフを表現していたということです。

T-HRM Tanaka Human Resources Management

「4分間は長かったけれど、あっという間でした」浅田選手の言葉がその心境を映していて、印象的でした。オリンピックでのフィギアスケートは男女日本選手全員が持ち味を發揮！拍手を送ります。ただ、今回のジャッジは？このままのジャッジ体制が続くのであれば、残念ながらフィギアは「得点競技ではない」と強く感じました。その得点が客観的というより主観的なジャッジに映ったからです。特に女子では金メダル選手は確かに素晴らしい滑りをしましたが、高得点すぎて2位以下との得点差は異常でとても公平には思えず、ジャッジの信用性はどこにある？審判員は要らないぞ！今後は、実際見ている観衆が評価することで良いのではと思います。感動する良い演技には、スタンディング・オベーションだったり……。8位でも鈴木選手の滑りからは、何かジンジン伝わってくるものがありましたし、安藤選手も良かったです。

今回のオリンピックのキャラクターマークの名前をご存知でしたか？私は知らなかったのですが、どこかで見覚えが！カナダのプログレッシブ・ロックグループ「RUSH」の1996年のアルバム作品の「テスト・フォー・エコ」のジャケットに「イヌクシュク」があった！（表面の写真）。私のお気に入りであるこのグループは、1974年デビュー以来36年にわたり、カナダのトリオグループとして第一線で活躍しているとして、カナダのグラミー賞に当たる音楽賞の「JUNO AWARD」では殿堂入りしています。